

【別紙】

神経変性疾患に対する自己骨髄由来間葉系幹細胞を用いた治療（髄腔内投与） を希望される患者様への説明書（未成年者向け）

1. この治療について

私たちの体は、脳や背中の中にある「神経（しんけい）」という細い糸のようなものが動かしています。神経がだんだん弱くなったり、壊れていく病気のことを神経変性疾患（しんけいへんせいしっかん）といいます。

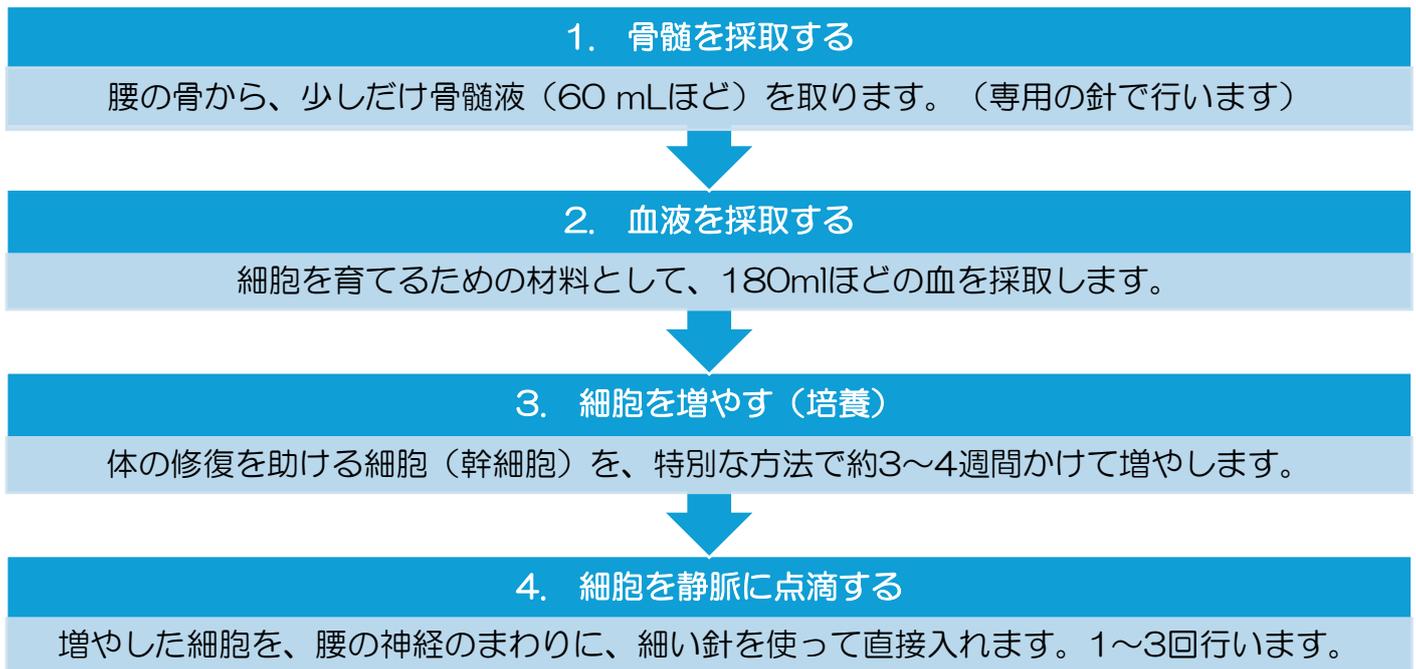
この治療では、あなたの体の腰の骨から、少しだけ骨髄（こつずい）という液を採取し、その中にある「体の修復を助ける細胞（幹細胞）」を使って、神経の調子をよくすることを目指します。この骨髄の中にある幹細胞には、次のような働きがあります：

- 自分と同じ細胞を作る力（成長する力）
- いろいろな細胞に変わる力（神経や血管の大切な部分になる）
- 炎症を抑える力（はれや神経のダメージをやわらげる）

この治療では、こうした幹細胞の力を使って、神経変性疾患による症状（手足が動きにくい、考えにくい、ふらつくなど）を少しでもやわらげることが期待されています。

2. 治療の流れ

治療は次のようなステップで行われます。



この流れで治療が進みます。

3. 期待できる効果と注意点

◎期待できる効果

- 体の動きがよくなる
- 気持ちが前向きになったり、考える力が少し戻ることがあります
- 神経の傷ついた部分が守られたり、回復しやすくなる

◎注意点（副作用）

- 注射したところが痛くなることがあります。
- 発熱や頭痛が出るることがあります。
- 細胞を入れても **必ず効果があるとは限りません。個人差があります。**

4. 他の治療方法との違い

神経変性疾患の治療には、ほかにも次のような方法があります：

- **お薬**（飲み薬）→ 一時的に症状をやわらげます
- **リハビリテーション** → 体の動きをよくする運動

この治療では、自分の体の中にある「回復を手伝う細胞（骨髄の中にある幹細胞）」を使って、こわれた神経の動きをよくすることを目指します。

5. 参加できる人の条件

この治療を受けられるのは、次の条件に当てはまる人です：

- 神経変性疾患と診断されている人
- 18歳未満でも、週2回以上のリハビリができる人
- 医師が安全に治療できると判断した人

ただし、次のような人は治療を受けることができません：

- HIV や HTLV-1 の検査で陽性の人
- 妊娠している人

また、事前の検査で 体の状態によっては治療が受けられない場合 もあります。



6. 治療を受けるかどうかは自由です

この治療は **受けなくても問題はありません。**

説明を聞いた後で「やっぱりやめる」と決めても **不利益はありません。**

もし治療をやめたい場合は、書類にサインして提出してください。

7. 治療の費用

この治療は **保険が使えません。**

治療にかかる費用は **全額自己負担** になります。詳しい金額は **別の資料** で説明します。

8. 相談したいとき

治療についての **質問や相談はいつでも OK** です。

気になることがあれば、お医者さんやスタッフに聞いてください。

施設名：医療法人社団ウェルエイジング D クリニック東京

連絡先： TEL 03-5224-5551



9. 副作用やトラブルがあった場合

- もし治療で **体に問題が起きた場合** は、すぐに診察を受けてください。
- 病院の **保険が適用される** こともあります。

10. 個人情報の取り扱い

あなたの 個人情報は厳密に管理 されます。

名前が分からない形で 治療のデータが研究に使われることがあります。

11. その他の大切なお知らせ

この治療が安全で、ちゃんと効果があるかを確認するために、

治療が終わった 1 ヶ月～3 ヶ月後 に病院で診察を受けてもらいます。

もし、病院に行くのがむずかしい場合は、お電話などで 体の調子を聞かせて
もらうこと もできます。

しっかりと様子を見守るので、何か心配なことがあったら相談してください。

